

今年度から、中学校で行われている道徳の授業や、各学年での様子などをお知らせしていきます。子どもたちが道徳の授業で学び考えていることや、神崎中学校として取り組んでいることについて知っていただき、各家庭でも話題にいただければありがたいです。

## ○特別な教科『道徳』とは？

これまでの道徳とは少し異なり、専用の教科書を使って授業をしています。以前は、物語を読んで感想書きで終わっていましたが、本校では、『心豊かで自他を大切にすることができる生徒の育成～さまざまな「対話」を取り入れた道徳科の授業と家庭、地域を通して～』のテーマのもと様々な活動を取り入れながら授業を行っています。教科書に載っている物語は、伸ばしていきたい項目とリンクしており、主人公の気持ちや起こった出来事について、自分が考えたことや感想を友だちと話し合いながら「考え、議論すること」を中心としています。

## ○道徳で学ぶ項目とは？

大きく4つ、小さく22に分かれています。

### 自分自身について

自主、自立、自由と責任・節度、節制・向上心、個性の伸長・希望と勇気、克己と強い意思・心理の探求、創造

### 人との関わり

思いやり、感謝・礼儀・友情、信頼・相互理解、寛容

### 生命や自然、崇高なものについて

生命の尊さ・自然愛護・感動、畏敬の念・よりよく生きる喜び

### 集団や社会との関わり

遵法精神、公德心・公正、公平、社会主義・社会参画、公共の精神・勤労・家族愛、家庭生活の充実・よりよい学校生活、集団社会の充実・郷土の伝統と文化の尊重、郷土と愛する態度・我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度・国際理解、国際貢献

子どもたちは、細分化された内容項目について、毎時間考えたり、友だちと話し合ったりしながら自身の成長につなげています。

## 1年生「人のフリみて」 項目：思いやり、感謝

授業のねらいは、「多くの人の善意や思いやりに支えられていることに気づき、感謝を表す気持ちを醸成すること」です。まずは、お店やタクシー等で「ありがとう」を伝える理由や「ありがとう」のもつ力について、個人及び班で考えました。生徒からは、「心を温かくする」や「はげますことができる」などの意見が出されました。

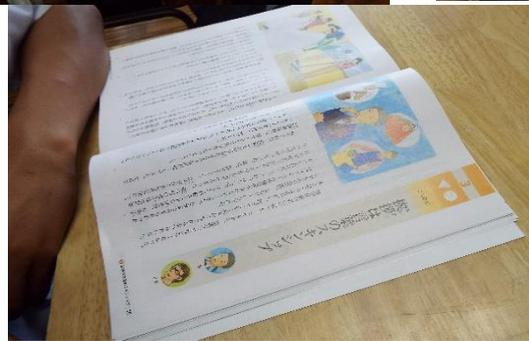
最後に、「ありがとうを伝えたい人は？」では、家族（育ててくれたことや応援してくれること）やクラスメート（いつも声をかけて仲良くしてくる）など、一人一人の感謝のことばが出されました。ご家庭でも話題にいただけたらと思います。



2・3年生については、ウラにあります。

## 2年生「挨拶は言葉のスキンシップ」 項目：礼儀

授業のねらいは、「心と形が一つになった礼儀や作法の意義に気づき、相手を尊重する心を込めて、形に表していこうとする態度を養う」ことです。職場体験中の女生徒の気持ちの変化について知り、心のこもった挨拶とはどんな挨拶なのか？ということについて考えました。また、フリートークの中で友だちからの意見を取り入れて考えを広げたり、話し合いの中で似たような考えを見つけて自分の考えに自信をもち深めたりすることができていました。最後の感想には、「挨拶をすることで、自分も相手も気持ちよく過ごしたい」や「言葉だけでなく気持ちまで考えた挨拶を意識していきたい」など、これからの生活の中での意欲につながるものがたくさん見られました。ご家庭でも挨拶についてお話をされてみてください。



## 3年生「臓器ドナー」 項目：生命の尊さ ふれあい道徳

参観授業ということで、たくさんの保護者の方に見ていただき、生徒が直接保護者にも意見を聞く、文字通りのふれあい道徳となりました。「臓器ドナー」という大変重い教材でありましたが、友達や保護者の意見を聞きながら、もしも自分や家族が、その立場だったらどうするだろうと真剣に考えていました。

ドナーカードの説明をして、実際に子供の臓器を提供した夫婦のドキュメンタリー番組を鑑賞した後は、夫婦のつらい気持ちに共感し涙を流す生徒もいました。

自分が脳死だったら提供してもいい、家族だったら提供したくない、今はまだわからないなど様々な意見が出ましたが、多くの意見を聞くことで、ねらいである「生命の尊さを深く理解し、自他の生命をかけがえのないものとして尊重しようとする判断力を育てる」授業になったと思います。保護者の皆様には、授業に参加いただきありがとうございました。これを機会に、ご家庭でも、命の大切さについてお話していただけたら幸いです。



### 〇編集後記

いかがだったでしょうか？今年度からの取り組みで、試行錯誤しながら発行したいと考えております。次回発行は10月下旬予定です。また、道徳通信の感想等も募集します。QRコードから回答ください。

